

学習院 中等科 高等科

2027年度 学校案内

GAKUSHUIN

BOYS' JUNIOR HIGH SCHOOL BOYS' SENIOR HIGH SCHOOL

2027 Academic Year School Guidebook



Since 1877

2027年 学習院は創立150周年を迎えます



集い 出会い 研き合い

学習院中等科・高等科 科長 高城彰吾

学習院は歴史ある学校で、弘化4年（1847年）、京都に開かれました。明治10年（1877年）、東京・神田錦町に改めて開設され、150年近くの歳月、社会のリーダーを輩出し続けて来ました。今日、学習院は幼稚園から大学院までの学齢に応じ、その時期に身に付けるべき素養と社会に貢献する多様な個性を、一貫した理念に基づいて育んでいます。その理念は、「ひろい視野 たくましい創造力 ゆたかな感受性」という3つの言葉に集約され、学習院の教育を表現するものとして関係者の間で折に触れ語られています。

中等科・高等科は人格の幹を作る大切な時期を担っています。大勢の仲間が集う場で、皆さんは自分と異なる人たちの存在に気づき、それまで持ちえなかった知識に

触れることで「ひろい視野」の大切さを知りましょう。そして、新しい出会いから得られるさまざまな知識と経験を受け容れるなかで「ゆたかな感受性」が育まれていくのです。さらに、このようにして自分のものとした知識・考え方を基に、ここに集い出会った個性豊かな仲間たちと共に「たくましい創造力」をもって、それまでなかった新しい主張を創り出してゆくことが望まれています。学校は生徒が集い、出会い、研き合う場です。中等科・高等科で学んだものを糧として、その後はより専門的な知識・技能を身に付け、さらには社会の各方面に進んで、大いに活躍して欲しいと思います。多くのことを学び合い、共に3つの言葉を実践して行こうではありませんか。





CONTENTS

教育理念●P2

中等科・高等科 科長の言葉

教育方針●P4-5

「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」

カリキュラム●P6-9

成長に寄り添う学び

教育課程(時間数)／選択別時間割例

スクールライフ●P10-11

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育

学校施設●P12-13

中等科・高等科の施設紹介

キャンパスマップ・アクセス・歴史●P14-17

中等科・高等科へのアクセス・歴史

課外活動●P18-19

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

国際交流●P20-21

留学制度や国際交流について

進学●P22-23

中等科・高等科の進学状況

連携・Q&A●P24-25

生徒と教職員と家庭の連携／学習院Q&A

INFORMATION 2027年度●P26-27

2027年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

教育方針

「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」

中等科と高等科では、それぞれの年代の特性を踏まえて指導を行います。中等科では、生活の基礎を築き、より丁寧な指導を通じて基礎的な価値観を育みます。高等科では、より自立した学びを促し、自由と責任を重んじた教育が行われます。生徒一人ひとりの個性を尊重し、自分らしく充実した人生を歩む力を育てることを目指しています。



中等科の教育目標

中等科では、生徒一人ひとりが持つ「個性の芽」を見出し、将来大きく開花させるための準備を何よりも大切にしています。画一的になりがちな義務教育の枠組みの中でも、本校ならではの丁寧な関わりを通して、生徒それぞれの多様な持ち味を引き出します。

この姿勢は日々の授業だけにとどまりません。多彩な学校行事や校外教育、活発な部活動など、学校生活のあらゆる場面に教員のきめ細かな目を配り、すべての生徒が自分らしく輝ける居場所を見つけられるよう、常に寄り添います。

学習面では高等教育を見据え、基礎学力の充実に力を注いでいます。基礎学力とは、単なる基礎的な知識ではありません。すべての学問の基礎となる学力のことです。そのために英語、数学においては分割授業の時間を設け、より一層きめの細かい授業を心がけています。理科においては、単なる理科の授業ではなく、物理、化学、生物、地学、それぞれの専門の教員が、専用の施設で実験を重視した授業を展開しています。

また、豊富な運動施設を使って、色々なスポーツに取り組み、全面的な体力、技能の向上を図っています。

個性の芽を育む教育、それが中等科の教育です。



制服

1879年(明治12年)、学習院は日本で最初に学生の制服を定めました。生徒間で服装の華やかさを競う風潮を戒め、家庭の経済格差が「見た目」に表れないよう配慮したとされています。現在、制帽の着用は自由です。

高等科の教育目標

高等科では、生徒たちは自由を謳歌しつつ、その中で責任を果たすことを学びます。表面的な自由だけでなく、精神的な自由も尊重され、自らの価値観や考えを形成し、表現することが奨励されています。異なる意見を交わし合い、互いに理解を深めることで、多様な視点を持つ豊かな人格を育みます。

部活動においては、同年代で協力するだけでなく、高等科生が中等科のクラブのコーチを務めることもあります。一方で大学の部活動と合同で活動する機会もあり、幅広い年齢層との交流をすることで様々な人間関係を学

びます。また、生徒会活動や一部の学校行事の実行委員会では、生徒が主体となって企画・運営を担います。そのような生活を通して、教員の想像を超えて傑出した生徒が現れることも珍しくありません。指導するというよりは、成長を支え、ときには見守ることに徹するのも高等科の文化です。

さらに、高等科の特色として、卒業生が頻繁に母校を訪れることが挙げられます。成長した姿を見せに来る者もいれば、進路や人生の悩みを相談しに来る者もいます。教員と生徒の関係は、卒業後も続くのは通例で、刺激を与えてくれる一人の大人へと成長することを教員も楽しみにしています。

カリキュラム

成長に寄り添う学び

本校のカリキュラムは、年代に応じた学びを重視して設計されています。中等科では基礎をしっかりと固め、高等科では深い学びや横断的・探究的な学びへと広がっていきます。一方で、どの年代においても、クラス内が多様な価値観や考え方の交わる場となることを歓迎しています。



中等科：広がる学びの土台

中等科では、義務教育の範囲内で学習が進められますが、必要に応じて発展的な内容にも取り組み、生徒の理解を深めていきます。意識した先取り教育は行いませんが、自然な形で高校の授業内容に踏み込んだものとなっています。授業では、検定教科書に加えて、教員が独自に編纂した教科書や教材を使用し、より実践的で深い学びを提供します。例えば数学や英語では、少人数クラスに分け、20人程度のグループで指導を行います。個々の理解度に応じた丁寧な授業を行い、取りこぼ

しのないように細かくサポートしています。また、理科では、物理・化学・生物・地学の専門教員がそれぞれ担当するなど、専門性の高い指導が行われます。このようなアプローチにより、生徒一人ひとりの理解を確実に深め、成長を支援します。

高等科：自分に合わせた学びの開拓

高等科1年生では、まず全員が幅広い教科を偏りなく学びます。これは2年次から始まる自由な科目選択に向けて、自分の本当の関心を見極めるための大切な助走期間です。中等科から進学した生徒も、高校から新たに



入学した生徒も、ここでフラットに交じり合い、異なる視点を持ち寄りながら共に学びの土台を築きます。

2年生からは、自らの興味と責任で時間割をデザインします。教員の高い専門性を活かした多種多様な授業のほか、とりわけユニークなのが総合的な探究の時間です。教科の枠を完全に飛び越えた授業が展開され、各界の第一線で活躍する最先端の実践者と直接対話できる贅沢な機会も豊富に用意されています。生徒はここで知的好奇心を大いに刺激され、自らの関心を深く追求していきます。

本校には文系や理系といった窮屈なコース分けはあり

ません。得意な英語をさらに深く学ぶ生徒がいる一方で、文系の進路を見据えながらも、数式を解き実験にも取り組む本格的な化学の授業を選択する生徒がいるなど、一人ひとりの関心に合わせた自由な学びが可能です。3年生になると、意欲次第で学習院大学の授業を受けに行く生徒もいます。

私たちが重視するのは、目先のテクニックではない本質的な学びです。教員自身も常に研究を続ける風土があり、ここで培われた深い思考力や探究心は、大学進学はもちろん、その先の人生においても生徒を支える大きな財産となります。

カリキュラム

教育課程(時間数)／選択別時間割例

中等科、高等科6年間の学習がどのように進んでいくか、大まかな流れを紹介します。文部科学省の定める学習指導要領に基づきつつも、本校における独自性が盛り込まれています。

教育課程(時間数)											
週あたりの時数		5	10	15	20	25	30	34			
中1	国語 読解・表現 習字	社会 地理 歴史	数学 代数 幾何	理科 物理 化学 生物 地学	英語 リーダー・会話・LL	音楽	美術	技術・ 家庭	保健体育	道徳	
中2	国語 読解・表現・ 基礎能力	社会 地理 歴史	数学 代数 幾何	理科 物理 化学 生物 地学	英語 リーダー・会話・ 演習・LL	音楽	美術	技術・ 家庭	保健体育	道徳	
中3	国語 読解・表現・ 基礎能力	社会 歴史 公民	数学 代数 幾何	理科 物理 化学 生物 地学	英語 リーダー・会話・ 演習・選択	音楽	美術	技術・ 家庭	保健体育	道徳	
高1	国語 現代の国語／ 言語文化	社会 地理総合／ 世界史・総合	数学 数学共通／数学β	理科 物理／化学／ 生物／地学	英語	情報1	家庭 基礎	保健体育	H	R	
高2	国語 現代文／古文／漢文	社会 日本史／公共	数学α 数学β	必修選択 B 理科 選択 C 必修 選択 D	英語	芸術 1	総合的 な探究 の時間	保健体育	H	R	
高3	国語 現代文／古文／漢文	社会 倫理	数学α 数学β	必修選択 E (2科目) 必修 選択 E 理科 選択 F	英語	自由選択	保健体育	H	R		

※高等科の教育課程は、2022年度からの新教育課程を掲載しています。
 ※高等科2年の総合選択は、この他に1単位分設けられています。
 ※高等科3年は、選択科目数によって履修・修得単位数が変わります。

●高等科2・3年《選択科目》

選択B	選択C	選択D	選択E				選択F	自由選択	芸術1
地理1 日本史1 世界史1a 世界史1b 選択C	物理1 化学1 生物1 地学1	古文1 漢文1 中国語1 独語1 仏語1 英語1a 英語1b 情報1 選択B, C	地理1 地理2 日本史1 日本史2 世界史1a 世界史1b 倫理1 政経1 社会科演習1 古文1	古文2 漢文2 小論文1 物理1 物理2-2 化学1 化学2-2 生物1 生物2-2 地学1	地学2-2 数学演習1a 数学演習1b 情報2 中国語1 中国語2 独語1 独語2 仏語1 仏語2	英会話1 英語2b	物理2-1 化学2-1 生物2-1 地学2-1	芸術1 芸術2 体育1 選択E, F	書道1 音楽1 日本画1 西洋画1 工芸1
から1	から1	から1	から1	から1	から1	から1	から0～3	から0～2	から1

選択別時間割例

●中等科1年生の時間割例（1学期）

中1	月	火	水	木	金	土
1	国語	英語 R	地理	家庭	生物	技術
2	幾何	物理	国語	保健体育	保健体育	地学
3	国語	代数	物理	代数	幾何	習字
4	保健体育（水泳）	歴史	国語	道徳（HR）	化学	地理
5	英語 R / 会話	美術*	英語 R	国語	会話 / 英語 R	
6	音楽	美術	代数	英語 LL	歴史	

* 2・3 学期は、美術の授業1時間が音楽の授業に変更になります。

●高等科3年生〔社会科学・人文科学系志望者〕の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英語	古文	社会科 演習 1	漢文	現代文
2		現代文	英語		英語	倫理
3	EC	数 α	中国語 2	英語	保健体育	数 α
4	HR	数 α				英 3
5	古文 2	情報 2	小論文 1	現代文	古文	
6				倫理	数 α	

●高等科3年生〔理工・医歯薬系志望者〕の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英語	古文	数 2	漢文	現代文
2		現代文	英語		英語	倫理
3	EC	数 β	化学 2	英語	保健体育	数 β
4	HR	数 β				英 3
5	数 2	物理 2	物理 2	現代文	古文	
6		化学 2		倫理	数 β	

■高等科選択授業
（高等科 2・3 年で実施。月 5・6 時限、火 5・6 時限、水 3・4・5・6 時限、木 1・2 時限）

■少人数クラス編成授業
（中等科・高等科とも数学と英語で実施）

高等科 総合選択科目 講座一覧 2026 年度

Critical Reading and Discussion
生命科学 入門
声に出して覚えるドイツ語
英語プレゼンテーション入門
俳句の創作と鑑賞
暴力の倫理学
国際協力入門
博物館を知ろう
体脂肪を燃やそう
通史でない世界史
演劇入門
現代数学入門
自動車産業の現在、過去、未来
フランス文化入門
ミステリーと数理論理学
能楽を観る・知る・体験する
写真を撮る・見る
ランドスケープアーキテクチャ入門

教員より



中等科
教務課長
土屋 良太

中等科の時間割には数学はありません。社会も理科ありません。数学、社会、理科の授業をやらないのではありません。数学は代数と幾何の科目に分けて授業をします。社会は地理と歴史と公民に、理科は物理と化学と生物と地学に分かれます。それぞれの科目を別々の教員が担当します。科目ごとに専門の教員が担当することで、より詳しく、わかりやすく授業を進めることができます。英語の授業は、文法を中心に全般的な内容を扱うリーダー、ネイティブの教員が担当する英会話、実践的に進める演習などに分かれます。

部活動や多くの行事などを通して、友人関係を広げ、深めてください。初等科から進学してくる生徒が2〜3割いますが、彼らとすぐに仲良くなれます。



高等科
教務課長
久岡 敏郎

高等科のカリキュラムは「入口は広く・探究は深く」の信念に基づき編成されています。

まず高1で国語・数学・英語はもとより、理科は物理・化学・生物・地学の4科目を履修するなど、幅広い必修科目が提供されます。そこで気づいた自分の興味関心・進路志望に合わせ、高2以降は数多くの選択科目を組み合わせ、自分だけの時間割を作ります。そこにいわゆる文系・理系の区切りはありません。高等科で物足りなければ、高3で学習院大学の授業を履修できる制度もあります。高等科のカリキュラムを使って、自分のやりたいことに思う存分打ち込んでもらいたいと思います。

スクールライフ

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育



5月
長距離歩行(3泊4日)
中等科2年

2日目と3日目にそれぞれ約20kmの歩行を行います。班ごとに計画を立てて、富士山麓と河口湖畔を歩きます。自然散策をする中で、先生や友人と会話をし、交流を深める貴重な場となっています。



6月 クラスマッチ

学年を越えて15クラス対抗の競技がグラウンド2面と野球場で行われます。優勝したクラスには、礼宮(あやのみや)文仁親王(現秋篠宮皇嗣殿下)より寄贈された優勝杯(礼宮杯)が授与されます。



10月 修学旅行(3泊4日)
中等科3年

学年ごとに生徒と教員で話し合いながら、行き先や内容を決めていきます。1年生から準備を始めている修学旅行は、中等科生活のなかで一番の思い出になります。

5月
遠足(中等科1年3年)

10月 林間学校(3泊4日)
中等科1年

1年生が入学して最初に行う宿泊行事です。赤城山登山を中心とした体験活動を行います。都会から離れた自然豊かななかで生活し、集団生活の大切さを学びます。



中等科					
4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
高等科					

6月 観劇



6月
対筑波大学附属高校総合定期戦(附属戦)

対筑波大附属高校総合定期戦(附属戦)は、長い歴史を持つ日本最古の定期対抗戦の一つです。女子高等科と合同で、3校の各運動部が学校の名誉をかけて競い合います。部活動に所属していない生徒も、応援団やチャリーダーと一丸となって、伝統の一戦を盛り上げます。



7月
ボート大会
高等科2年

埼玉県戸田オリンピックボートコースで、漕艇競技に挑戦する伝統行事。2年生の全員がオールを握って息を合わせます。高校の行事としては全国的にも珍しいものです。



9月 沖縄研修旅行(3泊4日)
高等科2年

平和学習と自然体験について、1年生からの事前学習を経て、現地での体験を踏まえ、文化祭での発表までを一貫して行います。



10月 運動会

昭和26年に中等科を卒業された義宮（よしのみや）正仁親王（現 常陸宮殿下）より優勝杯が寄贈され、この義宮杯を争奪する形式で行われています。毎年、各チームの3年生が下級生に競技のルールや作戦などを指導していきます。



3月 スキー学校 （希望者参加／3泊4日） 中等科1年2年

例年3月下旬の春休みに、1年生と2年生を対象にした希望者参加行事として、長野県でスキー学校を実施してまいりました。



3月 ニュージーランド 短期研修 （希望者参加／9泊10日） 中等科2年

国際理解教育のための新たな試みの一つとして、平成21年度より春季休業を利用してニュージーランドの中高一貫校での短期研修プログラムを開始しました。

12月 OBと語る会

2月 芸術鑑賞会

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

11月 院内大会（球技会）



11月 中・高等科鳳凰祭（文化祭）

文化部の出番。有志団体も多数出展し、来場者で校内はいっぱいに。留学生による母国の紹介、バンドに吹奏楽に演劇など盛りだくさんです。



12月 柔道納会（3年生クラス対抗）

「柔道の父」とも呼ばれる嘉納治五郎師範はかつて、学習院教頭として奉職しました。これを機に日本の学校として初めて、柔道を正科に採用したのが学習院です。聖地、講道館で授業の成果の集大成を発揮します。派手な投げ技も目を引きますが、「礼に始まり、礼に終わる」など精神的な成長の体現が目的です。

2月 マラソン大会 高等科1年2年



3月 スキー教室（3泊4日） 高等科1年

岩手県・安比高原スキー場にて実施。生徒の希望と習熟度に合わせてスキー班・スノーボード班に分かれ、専門の指導を受けます。

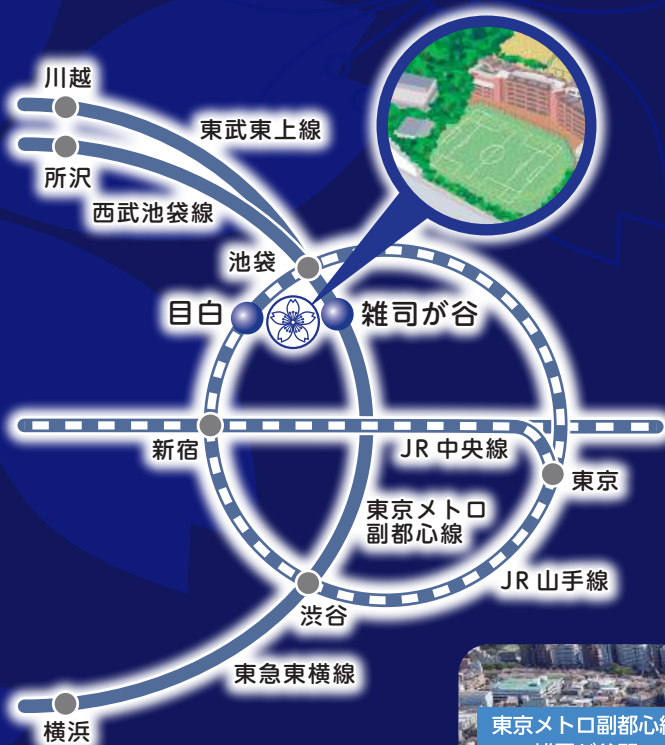
学校施設

中等科・高等科の施設紹介

目白の地に広がる学習院中等科・高等科。大学と共有する緑あふれるキャンパスには、新旧が調和した教育施設があり、中には文化財も含まれます。都心にこれほどの施設を有する例は他にありません。



利便性のよい都心にありながら、 豊かな緑に囲まれたキャンパスです。



最寄駅からのアクセス

JR山手線
「目白」駅より 徒歩5分

東京メトロ副都心線
「雑司が谷」駅より 徒歩5分



学習院中・高等科沿革

1847年(弘化4年)
京都御所日御門前に
学習院開講する

1849年(嘉永2年)
孝明天皇より「学習院」の
勅額が下賜され、正式名称
となる

1877年(明治10年)
神田錦町に私立の華族学校が創立される
10月17日に明治天皇・皇后両陛下親臨のもと
開業式が行われる勅諭により「学習院」の名称
が定まり、後に勅額が再び下賜される現在の
学習院はこの時をもって創立としている

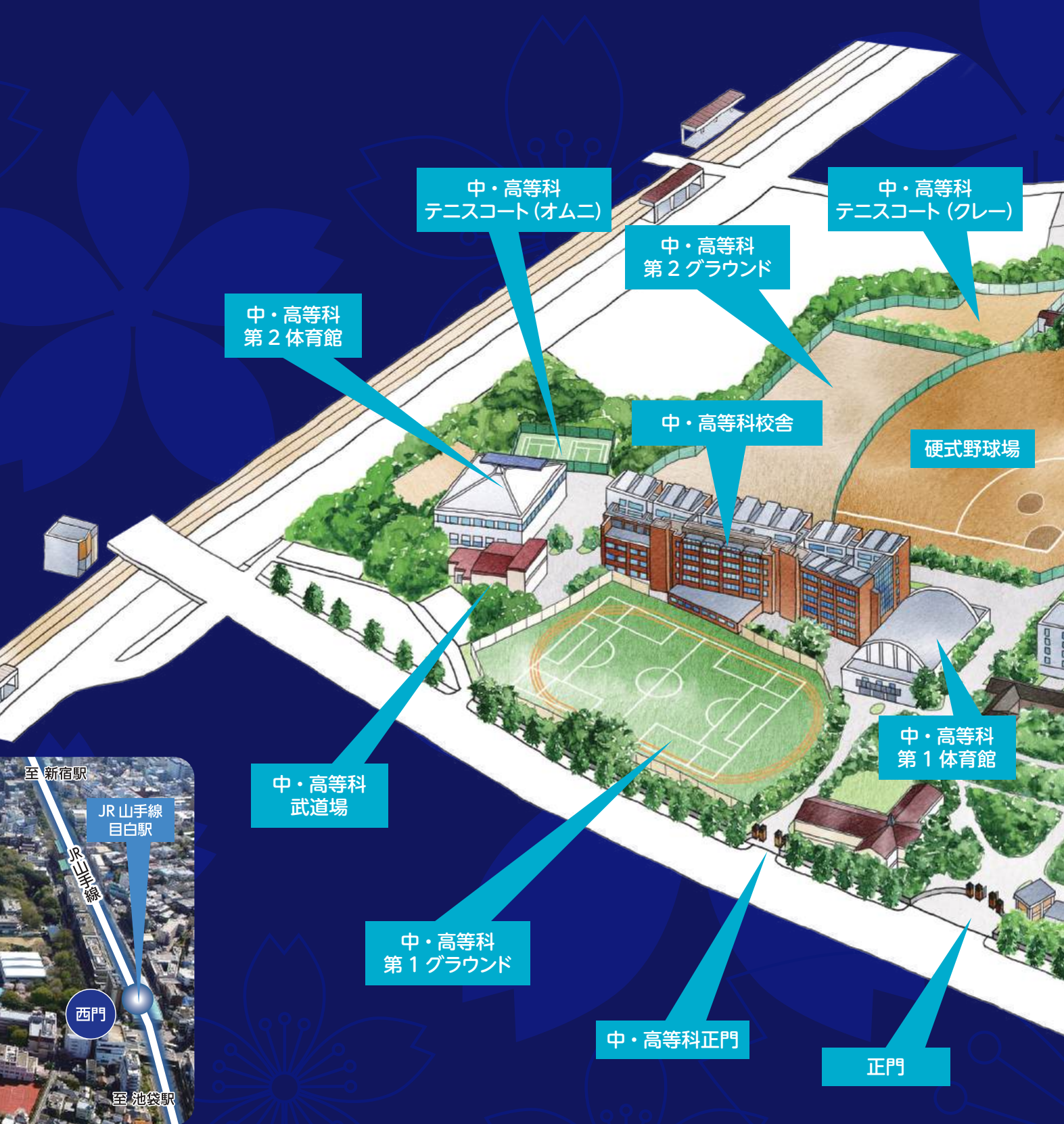
1879年(明治12年)
日本で初めて制服を導入

1885年(明治18年)
男子のみの教育を行う
こととなる(前年華族
子女のための官立学
校が新たに創立される
ことになったため)

1884年(明治17年)
宮内省所轄の官立学校となる

1919年(大正8年)
初等学科、中等学
科という名称から現
在の「初等科」、「中
等科」になる

194
財団
合体
新制



		2000年
1946年(昭和21年) 宮内省から離れて私立学校となることを決定 中等科は戦災のため目白を離れ、1、2年生が 小金井に移る	1951年(昭和26年) 学校法人学習院となる	1998年(平成10年) 中等科・高等科の新校舎が 完成する
1947年(昭和22年) 学校法人学習院による新しい経営が始まり、学習院と女子学習院は して一つの私立学校となる の中等科・女子中等科を開設し、初等科は男女共学を実施する	1977年(昭和52年) 明治10年より数えて創立100周年を迎える 1948年(昭和23年) 新制の高等科・女子高等科を開設する	2000年(平成12年) 中等科・高等科1クラス40名の 5クラス体制が整う 1978年(昭和53年) 学習院創立百周年記念式典を挙げる

洋弓場

馬場

ゴルフ練習場

東1号館
(大学図書館)

学習院創立百周年
記念会館

西門

2004年(平成16年)
第1グラウンドが人工芝化される

2002年(平成14年)
明治10年より数えて創立125周年を
迎える
学習院創立百二十五周年記念式典を
挙げる

2026年(令和8年)
学習院大学に国際文化交流学部
(戸山キャンパス)が新設され、新
たな進学先となる

伝統の中でおおらかに

さまざまな自分の可能性を見つけ、
豊かな個性を育むことができます。

考える、

また考える、さらに考える

充実した教育環境の中で自身の考えを
深めていくことができます。

生涯の友と

のびのびとした学校生活をおくる中で、
行事やクラブ活動を通して多くの友だちを
つくることができます。



中・高等学校舎と人工芝の第1グラウンド



1,100名余が収容可能な
創立百周年記念会館の正堂



緑の小径、語らいながら目白駅へ向かう下校風景



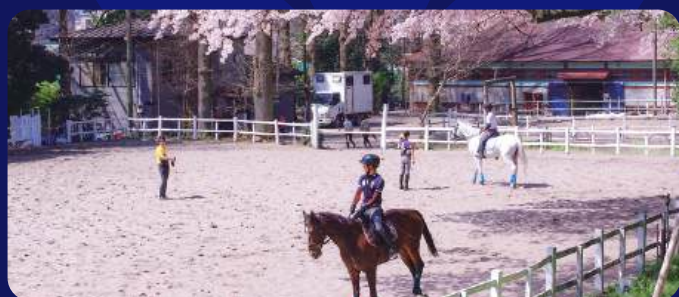
正門、春には見事な桜が新入生を迎える



中高門から校舎へと向かう小径



中高大の野球部が共有する野球場



大学生たちと練習に励む馬術部員、歴史ある厩舎では馬のお世話も日課



水面に映る紅葉が美しい「血洗いの池」



季節感のある構内の通学路



14



第1グラウンド

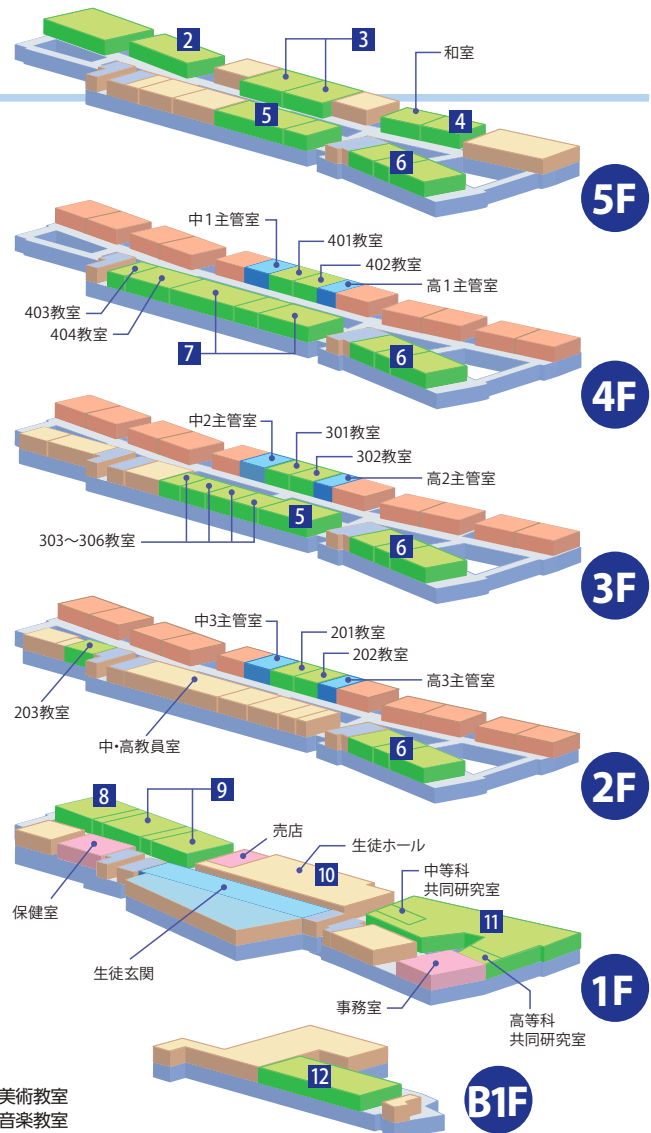


第2グラウンド



オムニテニスコート

16



1 美術教室

2 音楽教室

3 501教室 / 502教室

大型スクリーンと各種AV機器を備えた多目的教室です。200名以上を収容できます。

4 503教室

中等科の習字と高等科の書道の授業で使用します。

5 技術・家庭教室

6 理科教室

物理、化学、生物、地学、それぞれの科目に実験室と講義室が備わり、合計8室の理科教室があります。

7 社会科教室1 / 2

大型スクリーン・電子黒板と各種AV機器を備えています。

8 マルチメディア教室

英語の授業や多目的な用途で利用できる教室です。

2025年に改修。可動式の机と椅子が使われ、様々な形態で利用可能な教室です。

9 コンピューター教室A / B

それぞれの教室に生徒個人用 44台を配置しています。

10 生徒ホール(食堂)

250席の食券制食堂。中学1年から利用可能です。

中等科生は事前のお弁当注文も可能。

11 図書室

約12万冊の蔵書を誇る図書室です。雑誌・CD・DVDも充実しています。

12 標本保管室

約8千点の標本があり、博物館学的にも貴重な標本が並びます。

13 第1体育館 / 第2体育館

2つの体育館があります。第1体育館の2階はウェイトトレーニング場になっています。

第2体育館の1階は温水プール(25m・6コース)、2階は体育館です。

14 武道場

柔道公式試合場1面約70畳、2階は中等科運動部部室になっています。

15 第1グラウンド / 第2グラウンド

第1グラウンドは300mトラックがとれる人工芝のグラウンド、第2グラウンドは土のグラウンドです。

16 テニスコート

オムニテニスコート(2面)とクレーテニスコート(2面+シングルスコート1面)

課外活動

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

学習院には、幼稚園から大学まで一貫した輔仁会という組織があります。輔仁会は中等科支部組織と高等科支部組織に分かれ、いずれも生徒は希望に応じて運動部・文化部・同好会に所属し、活動しています。また、委員会活動も、代表会（中等科）・総務委員会（高等科）などを通じて活発に行われています。



中等科

【運動部】

剣道、硬式テニス、古武道*、サッカー、柔道、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、野球、ラグビー、陸上競技

【文化部】

囲碁将棋、演劇、音楽、弦楽、写真、生物、地学、鉄道研究、美術、物理化学、歴史研究

【同好会】

アマチュア無線、航空、釣

高等科

【運動部】

アーチェリー、剣道、硬式野球、ゴルフ、サッカー、山岳、柔道、水泳、スキー、漕艇、卓球、テニス、馬術、バスケットボール、バレーボール、ホッケー、ラグビー、陸上

【文化部】

演劇、化学、史学、写真、新聞、吹奏楽、生物、地学、美術、文芸

【同好会】

囲碁将棋、社会問題研究会、書道研究会、地理研究会、鉄道研究会、フォークソング



生徒の声



中等科 3 年
野球部主将
和泉 歩

こんにちは。中等科野球部主将の和泉歩です。中等科にはたくさんの部活があり、すべての部活が目標を掲げ、日々熱心に活動しています。僕が所属している野球部は都大会出場を目標に週4日、3学年50人前後で活動しています。野球は小学生からやっていないといっていけないと思われがちですが、未経験でも確実にうまくなれます！ちなみに僕も中学に入るまで野球未経験でした。僕以外にも中学から野球を始めて試合で活躍している人もいますので、未経験だからといって心配する必要はありません。部内の雰囲気も良く、厳しく仲良く活動しているところが野球部の良いところです。

また、中等科には豊富な文化部や同好会もあり、部活動の両立もできます。運動部に入りながら文化部にも入り、充実した生活を送っている友達がたくさんいます。野球部にも釣り同好会と兼部している人がいます。興味のある部活があったらぜひ参加してみてください。皆さんと会える日を楽しみにしています！



高等科 3 年
テニス部主将
井上 倫太郎

高等科テニス部主将の井上です。

テニス部は、高等科の数ある部活動の中でも伝統と実績があり、東京都ベスト16を10年以上維持しています。部員は多く2学年約50名、活動日は週4日です。

テニス部では、都合の良い時に参加する部員や、スクールと両立しながらコアに練習する部員など、それぞれの目標や目的に応じた活動ができます。また、先輩・後輩の隔たりなくチームを組むため、部員同士の距離が近く、とても居心地の良い雰囲気です。

自分のペースで練習に参加できるので未経験者にもおすすめです。

テニス部の他にも高等科から新設されるボート部・ホッケー部・馬術部など合わせて34の部活動があります。

皆さんもぜひ興味のある部活動に参加し、有意義な高校生活を送りましょう。

国際交流

留学制度や国際交流について

国際交流について

生徒の将来の活躍の場が日本国内にとどまらず、多岐にわたることは学習院中等科・高等科の誇りです。価値観を形成するこの大切な時期に異文化に触れ、より広い世界へ目を向けるきっかけを掴んでほしいと願っています。毎年、中等科では約20名の生徒が短期海外研修、高等科では約10名の生徒が1年間の海外留学を経験しています。留学から帰国して、互いの成長を見せあい、再会を喜ぶ姿は、ほほえましくも頼もしい光景です。彼らが学内の国際交流活動を牽引することで、多様な価値観が周囲の生徒にも広がっています。



■ 公認留学制度

高等科を対象とした原則1年間の留学制度です。1、2年生の2学期や南半球への3学期出発が一般的で、英語圏以外の多様な国への渡航実績もあります。あえて3年生で出発し、帰国後に再び3年生として学ぶ道を選ぶ生徒もいます。

帰国時の復学試験に合格すればそのまま進級でき、留学前の成績が良好なら試験は免除されます。

■ 留学生の受け入れ

高等科にはほぼ年間を通じて海外からの留学生が在籍しています。校内での自然な交流を通じて、生涯にわたる友人となることもあります。さらに留学生を迎えるホストファミリーは、ご自宅でできる生きた国際交流です。言葉や文化の壁を越えて家族の絆を深める時間は、生徒本人はもちろんご兄弟にとっても大きな刺激となります。ぜひこの豊かな時間をご家庭でご経験ください。

学習院は、世界に羽ばたく生徒たちの未来を応援します

学習院霞会館イングリッシュ・セミナー

本セミナーは長年にわたり継続して実施されてきた英語力の向上を目的としたセミナーです。夏季休業期間中に、短期集中型プログラムとして実施され、初等科から高等科までの児童・生徒を対象に、多様な教育テーマごとに15人程度のクラスを編成して、少人数教育が行われます。少人数ならではのきめ細やかな指導のもと、実践的な英語力と主体的なコミュニケーション能力の育成を目指します。

留学派遣生支援プログラム

(中・高等科)

協定校 St. Paul's School から招聘した教員によるワークショップやアカデミックスキル養成プログラムがあります。留学予定の生徒の留学準備を支援するとともに、留学から帰国した生徒のさらなるス

キルアップを行っています。

帰国子弟入学試験（中等科）

1980年度より、海外からの帰国者および帰国予定者を対象に一般の入試とは別の選考で帰国子弟入試を行っています。海外での貴重な体験を有し、特長のある生徒が毎年約15名入学しています。

ニュージーランド短期研修

(中等科)

中等科2年生の希望者を対象に、9泊10日の海外短期研修を行っています。ホームステイをしながら現地の中学校で実際の授業を受けます。

St. Paul's School（アメリカ）との

協定留学

セントポールスクールは、アメリカ東部メリーランド州にある通学制の私立学校です。1849年に設立された伝統校であ

り、歴史あるブルックランド・プランテーションの跡地に位置しています。

初等部は共学、中等部・高等部は男女別学という点は学習院と共通していますが、教師1人に対して生徒10人という徹底した少人数教育を実践している点は同校ならではの大きな特徴です。

本プログラムでは相互に留学生の派遣を行っています。セントポールからの留学生は4月～6月に本校に滞在し、本校からの派遣生は8月～10月にセントポールへ留学して、現地の学校生活を体験します。なお、本プログラムの参加者には学校から補助金が支給されます。

その他

国際交流支援団体が行う短期プログラムやオンライン交流会なども紹介し、多くの高等科生が自主的に参加しています。

ハナ高校（韓国）との交流プログラム（高等科）

韓国・ソウル市の名門私立、ハナ高校との交流です。補助金の対象となっています。

●国際シンポジウムへの参加 7月末に同校で開催されます。3人1組で最大3チームが参加し、アジアや欧州の高校生と学生寮で寝食を共にします。グローバルな課題について英語で探究し、発表を行います。

●生徒交換短期プログラム：1月に留学生を受け入れ、3月に本校生徒を派遣する相互交流です。約1週間の寮生活とホームステイを通じ、現地の授業や行事に参加して異文化を肌で学びます。



プナホウ高校との音楽交流会

2025年3月、親交のあるハワイのプナホウ高校の生徒が来日し、学習院の男子部と女子部の中・高等科生で構成される管弦楽団の「ユース・フィルハーモニック」が音楽交流会を行いました。有志の生徒や、卒業生なども参加し、親睦を深めました。



生徒の声



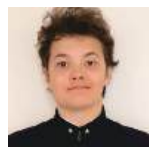
【公認留学】

2026年3月 高等科卒業
米 アーラム大学 (Earlham College)
平和・グローバル学 (Peace and Global Studies) 専攻
(高1 夏から1年間 フランスへ公認留学)
中尾 善翔

私は高1から EIL という団体を使いフランスに1年間留学しました。学習院が中高一貫のため中学の頃から留学計画を立てやすく、公認留学の制度があるため留学を決意しました。留学を通じ文化交流の楽しさを知り、日本を外から見ることで自分の“当たり前”が変わりました。

帰国後は経験を活かし、学校主催の国際交流に積極的に参加し、現在はエストニアとの交流を企画しています。卒業後はアメリカの大学に進学し、日本コンテンツが国際平和に貢献できる可能性を模索します。

学習院は国際交流や交換留学制度も非常に充実しています。周囲と同じ「普通」である必要はありません。一歩踏み出す経験は必ず自分の糧になります。ぜひこの環境を最大限に活用し、自分だけの道を切り拓いてほしいと思います。



【留学生】

フィンランド出身
(2023年9月より1年間)
オーッコネン・トゥオマス

交換留学生として高校でとても良い経験をさせていただきました。高等科はとてもアットホームな雰囲気、新しい友達もたくさんできました。

ハイライトの一つは沖縄への修学旅行と北海道でのスキー研修旅行でした！また、文化祭では、私たち留学生は古典落語「寿限無 寿限無」や能の舞を披露しました。

クラブ活動に参加したり、放課後友達と遊んだりしてとても楽しかったです。

私が困難に直面したときはいつでも、先生たちはすぐに私をサポートしてくれました。学習院高等学校での日々を振り返り、素晴らしい思い出と経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

進学

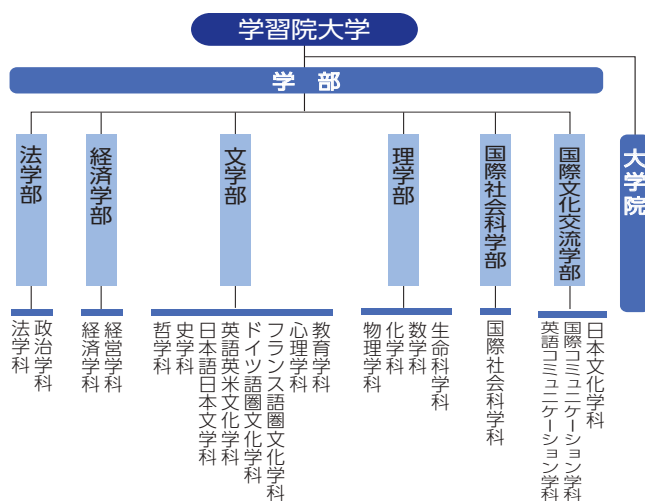
中等科・高等科の進学状況

進学においては、中等科・高等科ともに生徒が個性を伸ばし、目標とする進路に進めるように配慮しながら指導を行っています。基準を満たしたほとんどの中等科の卒業生は、高等科へ進学しています。高等科の卒業生は、学習院大学あるいは希望により他大学に進学します。学習院大へ進学した場合、ほぼすべての生徒に対して希望する学部・学科への道が開かれています。

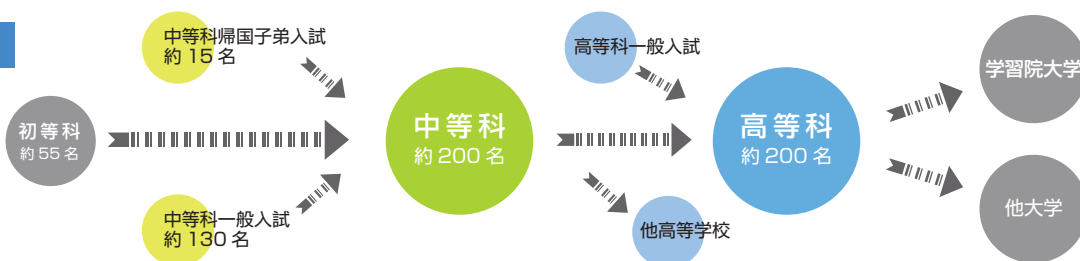
学習院大学

都心の充実したキャンパスで、本物の「知」と出会う

学習院大学の最大の強みは、都心にありながら充実した研究・学習施設を誇る、目白と戸山の恵まれた立地です。近接する2キャンパスに全学部が集結し、学年による移動もありません。この優れた施設環境が生み出す小規模で和やかな雰囲気と一体感のなかで、科学研究費の新規採択率で私立大第1位（2021～2023年度実績）を獲得した確かな研究力と、その分野の第一人者から直接学べる質の高い少人数教育が展開されています。



進学の流れ



生徒の声



慶應義塾大学1年
商学部
佐藤 中央

高等科の魅力は、夢中になれることを探せるところだと思います。挑戦の場は、学問や部活、行事など様々です。行事を取り上げると、鳳凰祭や球技会、ボート大会、柔道納会などが年間を通して行われ、学校全体が熱気に包まれます。

私は鳳凰祭で設備副委員長を務め、4ヶ月前から予算折衝や装飾準備に取り組みました。仲間と試行錯誤を重ねて迎えた当日は、青春が凝縮されたかけがえのない時間となりました。

部活は同好会を含め34団体あり、馬術・洋弓・漕艇など稀有な競技にも挑戦できます。ホッケー部に所属していた私を始め、多くの生徒が目標に向かって努力を重ねています。

このような自由で充実した環境が、自分の興味を見つけ、将来の多様な進路選択を可能にしています。本校での学びの享受は必ず人生に彩りを与えるでしょう。



学習院大学1年
法学部
曲竹 涼太郎

私は学習院高等科に入学することは、「未知との遭遇」であると感じています。様々な個性を持つ同級生と出会い、知らなかったことを学び、世界の広さと狭さを知る。私にとってこの3年間はかけがえのないものであり、この先の人生において必ず有益となることを確信しています。

私が思う高等科の1番の魅力は生徒が持てる選択肢が非常に多い点です。高等科には、制服着用などの学生としての最低限のマナーは存在しますが、いわゆる校則と呼ばれるような固い規則は存在しません。そのため、自由な校風の下、勉強、部活動、趣味など自分の好きなことに熱中することができます。また、学習院大学への進学という1本の道が選択肢にあることも魅力です。

熱き3年間で過ごしたいなら、ぜひ高等科に。

2026 年 学習院大学推薦 (実数)		
学部	学科	人数
経済学部	経営学科	33
	経済学科	11
法学部	政治学科	22
	法学科	17
国際社会科学学部	国際社会科学科	21
文学部	史学学科	1
	日本語日本文学学科	4
	英語英米文化学科	0
	フランス語圏文化学科	0
	心理学科	3
	教育学科	2
理学部	物理学科	2
	数学科	2
	生命科学科	2
合計		120

2026 年 指定校推薦枠による進学 (実数)		
大学	学部	人数
慶應義塾大学	商	2
	法	2
	理工	2
東京理科大学	工	1
	創域理工	1
	理	1
	経営	2
上智大学	総合グローバル	1
中央大学	法	2
	法	2
早稲田大学	基幹理工	1
	創造理工	1
	先進理工	1
日本歯科大学	生命歯	1
合計		20

※指定校推薦枠があっても進学する生徒がいなかった大学・学部名は記載していません。

2026 年 国公立大学合格実績			
※推薦含む			
国公立大学 (総人数)	学部	現役	浪人
東京大学 (2)	文科三類	1	0
	理科一類	0	1
北海道大学 (2)	理	1	1
国際教養大学 (1)	国際教養	0	1
東京外国語大学 (1)	言語文化	1	0
東北大学 (1)	工	0	1
横浜市立大学 (1)	データサイエンス	1	0
防衛大学 (1)	人文	1	0
防衛医科大学 (1)	医	0	1

2026 年 私立大学合格実績 ※推薦含む				
私立大学 (総人数)	学部	現役	浪人	
慶應義塾大学 (23)	経済	2	0	学習院大学 (7)
	商	4	0	
	文	2	1	
	法	6	0	
	理工	2	1	法政大学 (6)
	総合政策	3	1	
	環境情報	1	0	
	基幹理工	1	2	
早稲田大学 (23)	教育	1	1	青山学院大学 (4)
	商	3	0	
	政治経済	1	0	
	先進理工	1	0	
	創造理工	1	0	国際医療福祉大学 (4)
	文	2	1	
	文化構想	2	1	東京慈恵会医科大学 (4)
	社会科	2	0	医
	人間科	1	1	東京医科大学 (3)
	スポーツ科	1	1	医
明治大学 (13)	経営	1	0	同志社大学 (3)
	商	1	0	
	政治経済	1	0	日本医科大学 (3)
	文	0	1	
	法	2	1	経済
	理工	1	2	社会
	総合数理	0	1	立教大学 (3)
	農	1	0	
	情報コミュニケーション	1	0	経済
	外国語	4	0	法
上智大学 (11)	国際教養	1	1	岩手医科大学 (2)
	法	3	0	
	理工	0	1	国際基督教大学 (2)
	総合グローバル	1	0	
	総合グローバル	1	0	歯
東京理科大学 (11)	経営	3	0	国際基督教大学 (2)
	工	1	1	
	理	2	0	工
	創域理工	2	1	芝浦工業大学 (2)
	創域情報	0	1	
中央大学 (10)	経済	1	0	昭和医科大学 (2)
	先進理工	0	1	
	文	1	0	医
	法	4	0	立命館大学 (2)
	総合政策	1	0	
	国際経営	1	0	経済
	社会理工	1	0	法
	経済	1	0	神奈川歯科大学 (1)
	商	1	0	
	法	0	1	歯
日本大学 (8)	歯	1	0	杏林大学 (1)
	国際政治経済	0	1	
	国際食糧情報	0	1	医
	人間科	0	1	順天堂大学 (1)
	生物資源	0	1	
				医
				薬

海外大学		現役
アーラム大学 (米国)		1
デポー大学 (米国)		1
ウィスコンシン大学 (米国)		1

他20大学
(2026. 4. 3現在)

連携・Q&A

生徒と教職員と家庭の連携／学習院 Q&A

多感な中・高6年間。常に生徒たちの心を育て、ケアをする体制が整っています。



学年主管の役割

学習院では、クラス担任を「主管」と呼びます。これは、単にクラスを担当する役割にとどまらず、学年全体を見守り、主管同士がチームとして連携して生徒を支える役割を重視しているからです。教員も、それぞれの個性を活かしながら、時に助け合いながら生徒一人ひとりに寄り添った教育を行えるようにしています。

それぞれの学年の同じ階には「主管室」が設置されており、これが学年ごとの教員室となります。大教員室とは別に主管室を設けることで、きめ細やかで迅速な対応が可能となっています。

進路や学業の質問、あるいはさまざまな生活の上での悩み事にも、自分のクラスの主管に限らず、複数の視点から丁寧に対応します。



生徒の声



中等科 3 年
生徒会長
服部 泰己

学習院中等科は中高一貫の男子校です。広いグラウンドや体育館、武道場、室内プール等設備が整っており、運動部の活動はもちろん、体育の授業や行事でも思い切り体を動かします。美術室や音楽室、図書室といった文化活動のための施設も充実しており、自分の興味に合った部活動に取り組むことができます。また、学食が利用できるのも魅力の一つです。温かい定食や種類など、手頃な価格でしっかり食べられるメニューが揃い、多くの生徒でにぎわいます。友人と過ごす食事の時間は、学校生活の楽しみのひとつになるでしょう。

授業では、数学や理科をより細かい分野に分け、専門性の高い先生方が丁寧に教えてくださいます。座学で学力を積み上げる一方、理科室などを使った体験的な授業も多く、知識を実感として身につけられます。学習院中等科は、その恵まれた環境の中で文武両道を実現できる学校です。ぜひ、中等科で充実した学校生活を送ってみませんか。



高等科 2 年
総務委員長
神保 想叶

学習院高等科は、男子校特有の力強いエネルギーに満ちた学校です。緑豊かな広大なキャンパスには生徒の笑顔があふれ、日々活気に満ちた時間が流れています。

伝統と歴史ある学校ですが、決して堅苦しくはありません。先輩後輩の垣根が低く、互いを尊重し合う温かな雰囲気があります。学業はもとより、部活動や行事、委員会活動など、自分の興味がある分野に心ゆくまで没頭できる自由な環境が整っています。

生徒たちは多様な活動を通じて、自分らしさを追求しながら日々成長しています。この恵まれた環境で過ごす三年間は、楽しみながら自己を磨きたい人にとって、一生の財産となるかけがえのない時間になるでしょう。何事にも全力で取り組みたい皆さんの挑戦を待っています。

カウンセリングルーム

学習院中等科では、臨床心理士・公認心理師の資格を持ったカウンセラーが生徒や保護者の相談にあたっています。学校生活を送っていく中で、何か困ったことや心配なこと、相談してみたいことがあれば、気軽にカウンセリングルームにいらしてください。カウンセリングルームを利用したことや話した内容について、相談者の許可なく教員やご家族に伝えることはありませんので、安心してご利用ください。悩みや相談の解決に役立つと思われるときには、相談者のご了解を得た上で、先生方や外部の専門医療機関と連携して対応しています。

相談のご予約は保健室で受け付けています。基本的に予約制ですが、予約状況により当日のご相談も可能です。



家庭

保護者会

各学年の初めに、各クラスから3名の幹事を選出します。クラス幹事は、クラス懇親会を企画したり、保護者から出された様々な問題を主管と話し合うなど、学校と家庭とのパイプ役を担っています。

学校生活や行事について、学校からの連絡を伝える学年の保護者会が各学期にあります。

また、主管と日常生活や学業などについて話し合う保護者面談が、年に2回あります。



学習院 Q & A

学校説明会や保護者面談などの場で、保護者のみなさまから質問されることが多々あります。

ここでは、その中から代表的な質問・疑問にお答えします。

Q 学習院初等科出身者と中等科入学者との人間関係は？ 保護者の場合は？

A 中等科に入学してから初等科出身者とうまくやっていけるかという不安を持つようですが、「その心配は全くなかった」というのが聞いた限りの在校生すべての答えでした。教員も全く区別を意識したことはありません。むしろ初等科出身者は6年間付き合ってきた友達にさらに新しい友達ができることを楽しみにしているようです。クラブ活動、宿泊行事などを通してすぐに親しくなっていくのが子供のように。

保護者同士の場合は「入学前の心配がうそのようだった」というのが結論でした。「保護者懇親会、試合の応援などを通して仲良くなり、学習院の情報をいろいろと得られる」また、初等科出身の保護者にとっては「受験経験の話がとても参考になる」ということでした。

Q 公認留学制度について教えてください

A 公認留学とは、所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。留学での成果が認定されれば、留学期間の学年を修了したものとみなし、帰国後は出国時より一つ上の学年への編入が認められます。英語圏のみならず、フランス、イタリア、中国、チェコ共和国、ヨルダンなど世界各国へ渡った生徒がいます。

Q 公表された納付金以外に必要な費用が多くかかりますか？

A クラブ活動費（合宿参加費用など）が、また中等科では希望者参加の「臨海学校」、「スキー学校」「東北自然体験」「ニュージーランド研修」の費用が、それぞれ参加される場合にのみ追加されると考えてください。全員参加の行事費用などは全て納付金に含まれています。

Q 生徒の通学圏について教えてください

A 都内はもちろん神奈川県、千葉県、埼玉県などの隣接する諸県から通学する生徒も多くいます。時には宇都宮や小田原から通う生徒もありますが、通学に要する時間はだいたい片道1時間程度の人が多いようです。

Q スマートフォンの持ち込みはできますか？

A 中等科ではスマートフォンの持ち込みはできません。緊急時は生徒が学習用として所持しているパソコンを使って、メールでの対応ができます。一方、高等科ではスマートフォンの持ち込みが認められています。

INFORMATION 2027年度

2027年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

中等科

ミニ説明会

2026年 5月 2日(土) 14:00～

2026年 5月 11日(月) 10:00～

2026年 6月 8日(月) 13:00～

※入試出題教科の説明は行いません。 ※校内見学はできません。

学校説明会

2026年 5月 30日(土) 14:00～ (一般)

2026年 7月 11日(土) 9:30～ (一般、帰国子弟)

※入試出題教科の説明も行います。 ※説明会後に校内見学ができます。

入試説明会

2026年 11月 7日(土) 14:00～ (一般、主に6年生対象)

※入試出題教科の説明を増やして行います。 ※説明会後に校内見学ができます。

※帰国子弟対応の入試説明会は行いません。

授業体験会

2026年 5月 9日(土) 14:00～

クラブ体験会

2027年 3月 6日(土) 10:00～

❖ 帰国子弟入学試験

2026年 12月 4日(金)

❖ 一般入学試験

第1回 2027年 2月 2日(火) 第2回 2027年 2月 3日(水)

高等科

学校説明会

2026年 9月 26日(土) 14:00～

※詳細は高等科ホームページでご案内いたします。 ※学校見学も行います。

❖ 一般入学試験

2027年 2月 14日(日)

公開行事

中等科運動会

2026年 10月 10日(土) 9:00～ 雨天時は10月11日(日)に延期

中・高等科鳳櫻祭(文化祭)

2026年 10月 31日(土)、11月 1日(日) 両日ともに9:00～

※入試個別説明コーナーがあります。

説明会・体験会はWebでの参加予約が必要です。

日程は変更になる場合があります。

ホームページにて最新の情報をご確認ください。

学習院 中等科・高等科のホームページ

学習院中等科・高等科の教育内容については、学校法人・学習院のホームページからご覧になれます。
掲載しきれなかった Q&A コーナーをはじめ、多彩なコーナーを設けてありますのでご参照ください。
<https://www.gakushuin.ac.jp>

<https://www.gakushuin.ac.jp>



中等科 HP ▶



高等科 HP ▶

校

習

院

中 等 科
高 等 科

学 習 院

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-5-1
TEL 03 (5992) 1032
<https://www.gakushuin.ac.jp/>